

ふくし未来塾

福祉の価値（人間の荘厳さ）
||
倫理的価値観/人間力

令和時代の共生社会を創造するトップリーダー

- 福祉の価値を体現する
- 新しい福祉を創造する
- 教養を基礎とした経営
- 連帯協働の要となる想像（創造）力、実践力、求心力（人としての魅力）

社会福祉の
知識・技術

経営、管理運営
(マネジメント)

アドミッションポリシー（本塾が求める人材）

- ・社会福祉法人の次世代のトップリーダー・経営人財をめざす社会人
- ・社会福祉法人組織で新たな事業経営と福祉実践の創造を通じて、キャリアアップをめざす社会人
- ・リーダーシップを備え、社会福祉の総合性と専門性の学びを追求し、福祉の価値（人間の荘厳さ）を体現する高度な経営者をめざす社会人

受講期間 令和6年4月から令和7年3月まで

定員 40人

入塾資格 社会福祉法人の役職員であって、法人からの推薦があること
※または全社協構成団体の会員法人の役職員で、法人からの推薦があること

応募方法 申込書及び「福祉関係の職務経験、志望動機並びに本塾の学びをどういかしたいか（800字以内）」を記入の上、郵送でお申し込みください。「ふくし未来塾」の理念、アドミッションポリシー（本塾が求める人材）を踏まえ、本会において選考を行います。

受講料 119,900円（消費税等込）
※開講式・演習（合宿形式）・修了論文発表会等出席にかかる交通費、宿泊費・食事代等に要する費用は別途各自の負担とします。

修了要件 動画視聴レポートの提出、「ふくし未来演習Ⅰ・Ⅱ」の履修、修了論文の提出・合格

修了証 全国社会福祉協議会 中央福祉学院学院長 清家 篤

●主催 社会福祉法人全国社会福祉協議会

●運営協力 全国社会福祉法人経営者協議会 全国社会福祉法人経営青年会
全社協社会福祉施設協議会連絡会
（※全国社会福祉協議会が、第4期生より主催して実施）



〈申込・お問い合わせ先〉
〒240-0197 神奈川県三浦郡葉山町上山口 1560-44
社会福祉法人全国社会福祉協議会 中央福祉学院
TEL.046-858-1355 FAX.046-858-1356



詳細はWEBサイトをご覧ください

<https://www.gakuin.gr.jp/training>



第4期生募集



令和時代の共生社会を創造する
トップリーダーをめざして

～次世代の社会福祉法人の経営人財を育成する～

2040年に向け、超高齢社会、少子化、人口減少が大きく進展するとともに地域生活課題、福祉ニーズが多様化・複雑化し、一層厳しさを増しています。

こうした背景を踏まえ、全国社会福祉協議会が実施する「ふくし未来塾」では、社会福祉の制度の枠を超え、地域コミュニティにおいて共生社会の創造をけん引する、社会福祉法人のトップリーダー・経営人財を育成しています。

～「ふくし未来塾」の理念～

「全社協福祉ビジョン2020」がめざす「ともに生きる豊かな地域社会」を実現するために、公益性と非営利性を基本とする社会福祉法人のトップリーダー・経営人財の育成を見据えて、社会が必要とする社会福祉実践の理論と実践の実学とともに、実務家の資質に必要とされる倫理的価値観の形成と人間力を涵養することを本塾の理念とします。

全国社会福祉協議会

第4期塾生募集要項

<https://www.gakuin.gr.jp/training/miraijuku/>



ふくし未来塾 修了生の声

- ふくし未来塾での学びを法人に持ち帰ったことで、法人の理念やめざす地域の姿を再認識するきっかけとなり、地域に向けて活動していく機運が高まった。
- 志を同じくする仲間に出会い、福祉を通じて実現したい思いを語りあった。
- 多様な種別、職種、また地域も異なる受講生と交流し、自身の地域における事業展開を考えるうえで参考になった。

カリキュラム

I 前期プログラム / 4月1日から9月末日まで

1 開講式・キックオフミーティング

(令和6年6月13日(木)～14日(金))

共に学びあう第4期生が一堂に会し、ふくし未来塾でめざすものについて、受講者同士、また指導教授・講師との対話から意識醸成を図ります。



※会場はロフォス湘南(中央福祉学院)

【主な内容】

- ◎特別講義「令和の時代の社会福祉を展望する ～ふくしの未来を担うトップリーダーへの期待～」
全国社会福祉協議会会長 村木 厚子
- ◎開講オリエンテーション、自己紹介
- ◎【演習①】自社会福祉法人・福祉施設等(以下、「法人・施設等」)組織と地域社会の課題と理解について
- ◎【演習②】地域での公益的な取り組みについて
- ◎【事例報告】社会福祉法人による実践レポート(社会福祉法人経営青年会) ※塾生交流・懇親会等実施

2 ふくし未来演習I (令和6年8月24日(土)～26日(月)) (2泊3日)

演習テーマ 「公益・利他を追求し、ともに生きる豊かな地域社会をつくる」

※全塾生が中央福祉学院(ロフォス湘南)に会し、指導講師を交え、塾生が主体的に塾生同士での討議を重ねる対面での集合合宿を行います。

1 自法人・施設等組織の歴史と福祉サービスの現状と課題(自己分析・理解)

塾生が在籍する社会福祉法人の設立の歴史、理念、当時の時代背景、地域社会の状況等と今日の地域生活課題や福祉ニーズの課題と自法人・施設等組織の地域での支援活動について塾生同士で報告し合い、自法人・施設等組織の過去～現在を振り返ったうえで未来を展望し、自法人・施設等の経営課題と公的福祉制度にとどまることのない多機能化を目指す取り組みを考察します。

2 公益・利他の追求(新たな事業経営の創造)

自法人・施設等組織と地域社会の分析を通し、社会福祉法人経営における、福祉の価値を体現する新たな事業経営の創造に向けた行動原案(ビジョン、行動方針)を作成し公表します。

3 全体発表、ふりかえり

塾生それぞれの発表により、指導講師、塾生間での全体共有、実践のふりかえりをします。

3 修了論文発表会 (第51回国際福祉機器展(H.C.R.2024)公開セミナー)

- 1 ふくし未来塾(第3期)修了生の発表
- 2 ふくし未来塾(第1期～第3期)修了生と第4期生との交流

II 後期プログラム / 10月1日から3月31日まで

ふくし未来演習II オンライン演習を定期に開講(集団または個別。1回あたり120分程度)

- 全7回 第1回～第3回 修了論文のテーマについてディスカッション、指導 等
- 第4回～第7回 同上、並びに中間発表会

III 通期プログラム

講義(オンラインによる動画視聴)

受講期間を通じて自学自習により学びを深める。「ふくし未来塾」の理念・目的の達成のために社会福祉事業、法人・施設等の経営管理に必要な知識を体系的に学習できるよう3段階の課程を設定しています。

基幹課程	「福祉の思想と実践」、「社会保障・福祉政策と経済・財政」、「社会福祉法人経営と倫理」
応用課程	「地域共生社会の実現に向けて」
発展課程	「弛まぬ知的探求が成し得る実践」

講義題・内容及び講師 ※変更となる場合があります

【開講にあたって】ふくし未来塾のめざすもの……………全国社会福祉協議会 常務理事 笹尾 勝

- 基幹課程**
 - ①福祉の思想と実践 ～知を高め、再構し、あらたな福祉実践につなぐために～
 - ◎福祉に学ぶ人間の尊厳……………徳川 輝尚
 - ◎地域で養育を必要とする子ども・家庭への視座……………子どもの虹情報研修センター 副センター長 増沢 高
 - ②社会保障・福祉政策と経済・財政 ～社会保障制度を将来世代に伝えるために～
 - ◎2040年の医療・介護 ～到達点としての地域包括ケア～……………上智大学 総合人間科学部社会福祉学科 教授 香取 照幸
 - ◎生活困窮者自立支援から地域共生社会へ……………中央大学 教授 宮本 太郎
 - ③社会福祉法人経営と倫理 ～未来志向の法人・事業経営を確立するために～
 - ◎地域を守り抜く社会福祉法人 ～未来志向の経営戦略～……………全国社会福祉法人経営者協議会 会長 磯 彰格
 - ◎福祉サービスの質を考える ～福祉サービス第三者評価、苦情解決の取り組みから～……………全国社会福祉協議会 主任教授 山下 興一郎

- 応用課程**
 - 地域共生社会の実現に向けて ～ともに生きる豊かな地域社会に向けた実践を広げるために～
 - ◎ともに生きる豊かな地域社会に向けた実践的取組
・ふくし未来塾(第1期～第3期)塾生の実践取組

- 発展課程**
 - 弛まぬ知的探求が成し得る実践 ～令和時代の社会福祉、地域コミュニティを創造するために～
 - ◎“ごちゃまぜ”実践!共生社会によるまちづくり……………社会福祉法人佛子園 理事長 雄谷 良成
 - ◎「ひとりにしない」という支援……………NPO法人抱樸 理事長 奥田 知志
 - ◎取り残さない、その小さな声を。……………認定NPO法人シャプラニール=市民による海外協力の会

IV 修了論文 さらなる学びと実践をめざして

ふくし未来演習I、ふくし未来演習II及び講義等での研鑽を経て、塾生としての学びの集成であると同時に、起点ともなる修了論文を提出します。修了論文は、「ふくし未来演習I・II」の指導教授の講師が論文指導を行います。

ふくし未来演習I・II 指導教授・講師 ※敬称略

- 全国社会福祉協議会 主任教授 山下 興一郎
- 淑徳大学 教授 芹澤 高斉
- 社会福祉法人桃林会 副理事長 園田 裕紹
- 社会福祉法人来島会 理事長 越智 清仁
- 社会福祉法人みちのく大寿会 理事 野田 大介

